

いま、議会のあり方、議員の仕事ぶりが問われています。

# 市民の「痛み」に寄りそい 願い実現に働く議員を

議員はくらしの痛みを知っているのか  
(60歳代、男性)

仕事しない議員はやめてほしい  
(40歳代、女性)

## 市政を チェック

### 借り換えを提案し 35億円節約

90年代後半、松戸市でも高金利時代の借金の利払いが重くのしかかっていました。日本共産党は低金利への借り換えを提案し、5年間で35億円もの節約を実現しました。大銀行にモノを言える日本共産党ならではの実績です。

「議会改革」と称して、市長になんでも賛成で少数の議員さえいればよいというのでは、議会の役割が果たせないのではないのでしょうか。

今でも2議席減らされています。

「市民の苦しみの解決に働く」ことです。この役割を果たすために、

法律で議会の定数が定められ、松戸市は46です。

市議会の役割は「市民の声を届ける」「市政をチェックする」

「議会改革」と称して、市長になんでも賛成で少数の議員さえいればよいというのでは、議会の役割が果たせないのではないのでしょうか。

### 市民の声届け 市政をチェック

### 議会の役割

## ムダを チェック

### 海外視察を中止に

毎年実施されていた議員の海外視察。主に欧州などの観光施設をまわり1人当たり約50万円の税金が…。日本共産党は、「物見遊山だ」と厳しく批判し、98年以降中止させました。

## 9月議会

### 議員報酬の引き下げを要求

日本共産党は「経費削減というなら、やるべきことは議員報酬引き下げではないか」と9月議会の冒頭に議長に提案しました。これまでも共産党議員団は、報酬の引き上げに二貫して反対してきました。

### 住民の願い実現へ、トコトン頑張る

日本共産党が「子ども医療費無料化」に取り組んだのは30年以上前からです。「お金のあるなしで、子どもの命に格差を生まない」との思いから、みなさんと署名を集め市とも交渉。議会に提出した陳情は何度も否決されましたが、こうした妨害を乗り越え、無料化の流れは大きく広がっています。

### しっかり発言・キチンと報告

「市民アンケート」でみんなの声を聞き、議員が毎議会願いを届けています。市政や議会の様子を知らせる「議会報告」。議案や請願などの「賛成」「反対」の態度を示せるのも住民の立場を貫いているからです。

### 身近な相談相手、無料生活相談

「共産党に助けられた」…生活苦、派遣切りなど生活相談が急増しています。親身に最後まで支援する日本共産党。「困ったときは共産党へ」が市民の中に広がっています。



## 市民の利益第一で、市政動かす

「税金のムダづかいをなくせ」「本気で暮らしを守れ」—その思い、みなさんと同じです。

日本共産党は、行政に市民の声を届け、議会でも改革に一貫してとりくんできました。

